

「大人一年生」

戸田 遥稀

私たちは8年前に品野台小学校を卒業し、20歳になった今年成人式を迎えることが出来ました。

小学校の記憶はあまりないのですが、成人式を経て過去の自分からの手紙や写真、先生からの手紙を読んで思い出してとても懐かしい気持ちになりました。また、もう8年も経つのかと感じました。

ふりかえってみると高校3年生の時に卒業制作などに頭を悩ませたあの頃でさえ、あっという間に感じます。

これはジャンナーの法則という年齢と反比例して体感時間が短く感じてしまう現象だそうです。

これからは人生を豊かにするために目標をしっかり持ち、色々なことに興味を持ち挑戦し続けたいと思います。

まだまだ周りの人に頼ることが多く、まさか自分が大人になったなんて、と実感があまりありませんが、幼い頃から育ててくれた両親、見守ってくださった地域の方、今までの先生方のおかげでここまで来ることが出来ました。

これからは1人の大人として自覚を持ち、様々なことにチャレンジをして、社会に貢献していきたいです。

「成人になるにあたって」

山本 慶香



このようなご時世の中、無事に成人式を迎えることができ嬉しく思います。これからは大人の一員として自覚を持ち、身を引き締めて頑張ります。式典を終え、小学生の頃は同じ教室で過ごしていた友人も今は社会人として働いているもの、4月から社会人となるもの、学生として学業に励んでいるものなど、それぞれが別々の環境で努力しそれぞれの道を歩んでいることを実感しました。私は、今学生として学業に励む日々を過ごしています。ここでより多くの知識を習得し、社会に貢献できるような大人になりたいです。

今の自分があるのは、家族、先生、友人など周りにいる多くの人に支えられてきたからだ強く感じます。これからも多くの人に支えられて成長していくと思いますが、これまで支えられてきた感謝の気持ちを大切に支える側としても精進したいです。

成人として自分の言動・行動に責任を持ち、立派な大人になれるよう日々過ごしていきたいと思います。

紙面では敬称を略させていただきました。



令和 三年度を終えて

品野台地域交流センター長 水野 拓也

日頃は交流センターの運営に多大なご理解を賜りありがとうございます。

令和3年度のたくさんの行事・事業が、国内外の新型コロナウイルス感染防止対策により実行できず残念なこととなりました。

長寿をお祝いする敬老会・ぬくもり里祭をはじめ予定して

いました生涯学習事業の一部が開催できず、地域の皆さんの期待に応ずることができずに申し訳なく思います。

コロナ禍の中でしたが、1月9日（日曜日）に新成人を含め皆さんの健康面を最優先と考え、規模を縮小して令和4年成人式式典を開催しました。新成人の皆さんには、新たな目標を掲げ社会に羽ばたかれることと思います。今後のご活躍を期待し、温かく見守っていきます。

いよいよ4月からは、新年度が始まります。新型コロナウイルス感染拡大が収束し、地域の皆さんが安心して各種行事に参加できることを心より願っています。

地域交流センターが、さまざまな文化的・体育的な活動の拠点とし利用できるような施設になるよう心がけると共に、地域の皆さんが安心して参加できる行事・事業を開催できるよう努めてまいります。

引き続きご指導をお願いします。